

けんちゅうWith!



2021. 2. 24 No10

生徒の豊かな学びを学校全体で支える取組

小野高等学校の実践

2月も終盤。年度末のまとめの時期となりました。小野高等学校は、「第9回ご当地！絶品うまいもん甲子園」で全国準優勝を受賞した「小野活気あげバーガー」や地域の集いの場として生まれた「結（ゆい）カフェ」の実践が注目されています。今回の「けんちゅう with!」では、総合学科の高校として、学校全体で生徒の豊かな学びを支え、質の高い成果を挙げている小野高等学校の実践について御紹介します。

小野高等学校の実践に見える「目からウロコ」その1



NOLTY プランナーズによる教職員研修



探究プログラムに沿って、課題設定・情報収集・整理分析・まとめ表現の「型」を学んでいます。先生方の指導書も活用できます。

小野高等学校では、NOLTY プランナーズ様（仙台市）をお招きし、「探究学習の指導法」について全職員で研修会を行いました。探究学習を進める背景や指導法、評価法を学びました。研修を受けた先生方からは、「探究学習の必要性」や「地域と連携する必要性」「小中高の学びをつないだ探究学習の在り方」など、新たな気づきの声が聞かれました。学校全体で今までの指導方法をブラッシュアップさせ、さらに質の高い探究学習の取組や指導法を研究しています。

小野高等学校の実践に見える「目からウロコ」その2



プレゼンカの質を高める先生方のフォロー

2年生は、地域課題解決のための提案を行います。発表を前に担当の先生方とプレゼンの「熟議」を行います。対話をしながら、内容に不足しているところ、新しい気づきがあったところを改善し、提案の質を高めます。3年生では、学びの集大成として地域の課題解決を共通テーマに、小・中・高校での学びを生かしながら研究に励みます。毎年「ふくしま高校生社会貢献コンテスト」など各種発表会に参加していますが、発表会前には、校長先生・教頭先生・事務長先生などベテランの先生との「熟議」を経て大会に臨みます。これからの将来、児童生徒の「プレゼンカの向上」は大きな課題となっています。小野高等学校の取組は今後の指導の参考になります。



2年生の探究学習では、小野町職員の方をはじめ、地元在住の元大学教授、企業経営者、観光協会、商工会、伝統芸能保存会の方々から地域の現状や課題を調査した後、小野町の持続可能な在り方について一緒に考えました。まとめとして、課題解決案をポスターセッション形式でプレゼンします。





小野高等学校の実践に見える「目からウロコ」その3

オンライン授業から生まれた新たな地域交流の在り方

沖縄県立八重山農林高等学校（石垣市）との交流

今年度は交流活動が制限され、さみしい思いをしています。小野高等学校でも、毎年実施している沖縄県立八重山農林高校との現地交流を断念せざるを得ませんでした。残念…。しかし、オンラインシステムを活用して、9月から八重山農林高校とのリモート交流を始めました。交流は、オンライン交流授業を皮切りに1回、2回と増えていきます。気がつけばいつもより多くの交流を行っているのです。今では、生徒が主体となって、毎月コミュニケーションを取るほどに。オンラインシステムの利点を感じることが出来る出来事でした。まさに、目からウロコです！



昨年度の石垣島まつりでの交流販売会。小野町の特産品を小野高生が販売しました。来年は交流活動が再開できるよう、リモート交流で関係を深めていきます。



教室に花を！教室に癒しを！街に活気を！

田村市と地域の花屋さんのコラボレーション



田村市では、自粛要請が続く中、お花の需要が激減し影響を受けている市内の花屋さんを活気づけるとともに、様々なストレスを抱えている医療機関や学校活動に制限を受けている児童生徒の癒しのため、市内の施設に田村市産のお花を飾りました。この事業は、田村市の産業部商工課の発案で7月から11月まで行われ、学校では毎週届けられるお花を楽しみにしていました。コロナ禍の生活の中で、ほっとする取組ですね。コロナ感染症が一日も早く収束し、以前の生活に戻れることを願います。

Special Thanks! 家庭教育応援企業推進活動登録企業
新規登録の申込ありがとうございました

地域でつながる家庭教育応援事業
家庭教育応援企業・企業登録の申込
ダイハツ福島株式会社 様

代表取締役：佐藤 藍子

住 所：郡山市川向

今年、県内で4例目の「プラチナくるみん認定」を受賞しました。従業員の休暇取得、健康維持に取り組む企業です。

今年度は、昨年実施できなかった「家庭教育応援企業・企業内研修」の申込を頂き、実施することができました。次年度も、御検討の上、**研修の申込**を頂けますと幸いです。

各企業様を訪問させていただきますと、家庭教育の実践や地域貢献の取組、児童生徒の企業体験など、たくさんの取組を知ることができました。取組について広く知らせたいと思いますので**実践報告**の方もお待ちしております。

発行・編集 福島県教育庁県中教育事務所総務社会教育課

TEL:024-935-1488 HP: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70210a/>

